



事業一覧および事業箇所図は網走建設管理部の社会資本整備に関する  
 アカウンタビリティのページにて公表します。（6月公表予定）  
<https://www.okhotsk.pref.hokkaido.lg.jp/kk/akk/account/index.html>



## 網走建設管理部の概要



その先の、道へ。北海道

Hokkaido. Expanding Horizons.

### 《概要》

網走建設管理部管内は、知床世界自然遺産や流水に代表される豊かな地域資源を活かした観光産業や農林水産業が盛んな一方で、道内でもひととき広域分散型社会の色合いが強い地域であります。当部ではこの特色ある恵まれた自然環境と調和を図りながら、地域の産業や観光を支えてくれる人々が将来に渡って安全・安心で心豊かに住み続けることができる地域社会の構築に向けた社会資本整備に取り組んでいます。

道路関係事業では、管内や管外との交流促進や物流効率化、観光振興に資する道路ネットワーク整備とともに、緊急輸送道路における橋梁の耐震化や無電柱化、長寿命化修繕計画に基づく橋梁等の老朽化対策や落石などによる危険箇所の解消などを進めています。中でも令和5年度新規事業化された北見市内の南岸通は、北見中央ICとのアクセス向上による物流効率化などが期待されているところです。

治水関係事業では、浸水被害に備えた河道掘削や土砂災害を防ぐ砂防えん堤の設置、海岸侵食を防止する護岸の設置など自然災害から人命、家屋、財産を守る施設の整備はもとより、減災対策協議会や流域治水協議会を通じた関係機関との連携、オホーツク海沿岸における津波浸水想定に基づいた津波災害に強い地域づくりなど、ハード・ソフトの両面から防災・減災対策に取り組んでいます。

漁港関係事業では、地域の基幹産業の一つである水産業を支えるため、競争力強化や輸出促進に対応する衛生管理型の漁港施設の整備とともに計画的な既存施設の老朽化対策を行います。

このほか、観光資源でもあるオホーツク公園・オホーツク流水公園の施設更新や、ゼロカーボン北海道に向けてオホーツク紋別空港における航空灯火のLED化も進めています。